

愛媛県立図書館利用案内

借りる

- ▶カウンターで「利用カード」を作しましょう。
愛媛県在住・在学の方は、だれでもカードを作ることができます。
本人の住所確認ができるもの（生徒手帳や保険証など）が必要です。
- ▶本は、5冊まで3週間以内で借りられます。
カウンターに借りたい本とカードを出してください。

返す

- ▶返す本をカウンターに出してください。（カードは要りません。）
次の予約が入ってない場合、1回だけ延長ができます。
- ▶図書館が閉まっているときは玄関外の返却ポストに入れてください。

探す

- ▶図書館の検索用コンピュータで探すことができます。
（書名や著者名で検索できます。）
- ▶パソコンやスマートフォンなどで探すこともできます。
※分からないときはカウンターでたずねてください。

予約

- ▶予約申込書に必要事項を記入して、カウンターに出してください。
- ▶パスワードを登録すると、パソコンやスマートフォンなどから予約することもできます。
※利用カードをお持ちの方のパスワードの登録は、カウンター窓口、郵送、FAX、メールで申請できます。

愛媛県立図書館

〒790-0007 愛媛県松山市堀之内
TEL : 089-941-1441(代) FAX : 089-941-1454
<https://lib.ehimetosyokan.jp/>



★開館時間★

(火～金) 9:40～19:00
(土日・祝日) 9:40～18:00
(子ども読書室は17:00まで)
(えひめ資料室は18:00まで)

★休館日★

月曜（祝日の場合は直後の平日）、館内整理日（月末）、
年末年始、特別整理期間（3月中10日以内で館長が定める日）



←スマートフォンサイト

<https://www.ehimetosyokan.jp/winj/sp/top.do>



展示

9月～11月

月がきれいですね

～秋の夜長に月を読もう～



📖 新刊案内 📖

📖 『ひとりあそびの教科書』	宇野 常寛／著	河出書房新社
📖 『神さまと神はどう違うのか？』	上枝 美典／著	筑摩書房
📖 『文通小説』	眞島 めいり／著	講談社
📖 『15歳からの人生戦略 ドラッカー経営大学院教授の「未来をつくる」授業』	山脇 秀樹／著	東洋経済新報社
📖 『18歳までに知っておきたい契約のはなし』	神坪 浩喜／著	みらいパブリッシング
📖 『イラストでわかるやさしい生物学』	ヘレン・ピルチャー／著	創元社
📖 『君と漕ぐ 5 ながとろ高校カヌー部の未来』	武田 綾乃／著	新潮社
📖 『中高生のための短歌のつくりかた 詠みたいあなたへ贈る40のヒント』	鈴木 英子／監修	メイツユニバーサルコンテンツ
📖 『きみの話を聞かせてくれよ』	村上 雅郁／著	フレーベル館
📖 『涙の音、聞こえたんですが』	嘉成 晴香／著	ポプラ社



月がきれいですね

～秋の夜長に月を読もう～

2023年9月1日～11月29日

秋は空気が澄みわたり月の高度もほどよいことから、月が美しく見える季節ですね。古来、人々は月を眺めて様々な思いを巡らせていました。そこで、タイトルに「月」や「夜」、「星」の入る作品や月や星座について知ることができる図鑑を集めました。読書の秋を楽しみましょう。



『明るい夜に出かけて』 佐藤 多佳子/著 新潮社 2016

今は学生でいたくなかった。コンビニでバイトし、青くない海の街で一人暮らしを始めた。唯一のアイデンティティは深夜ラジオのリスナーってこと……。実在の深夜ラジオ番組を織り込み、夜の中でさまよう若者たちの孤独とつながりをあたたかく描いた青春小説。山本周五郎賞受賞作。



『月学 伝説から科学へ』 稲葉 茂勝/著 今人舎 2017

Q1.三日月は、月齢でいうと何日目？
Q2.これまでに月面を歩いた人類は何人？

あなたは月についてどれくらい知っていますか？ 月にまつわる事柄を、科学的に、写真や図版を使って分かりやすく解説し、日本人の月に対する思いなどを紹介しています。



『月夜とめがね』 小川 未明/著 げみ/絵 立東舎 2019

「日本のアンデルセン」と呼ばれた小川未明の、美しい夜のお話。書籍の装画やCDジャケットなどで活躍しているイラストレーターのげみが小川未明を描いた作品。小説としても画集としても楽しめる一冊です。



『今夜もそっとおやすみなさい』 小手鞠 るい/著 出版芸術社 2021

一日の終わり、あたたかな布団にくるまり、いざ眠りに就こうすると、昼間の誰かの言葉を思い出して傷ついたり、不穏なニュースにざわついたり、わけもなく心細くなったり……。そんな眠れない夜を過ごしているあなたに、かつて傷つき上手だった著者が心の刺の抜き方を教えてください。深夜ラジオのようなエッセイ集です。



『流浪の月』 凧良 ゆう/著 東京創元社 2019

愛ではない。けれどそばにいたい。再会すべきではなかったかもしれない男女がもう一度出会ったとき、運命は周囲の人を巻き込みながら疾走を始める。新しい人間関係への旅立ちを描いた長編小説。2020年本屋大賞受賞作品。



メールでもご質問やご意見を受け付けます。➡ya@libnet.ehimetosyokan.jp
* 件名に「YAメールレファレンス」と入力してください。* お名前、連絡先メールアドレスも忘れずに。